



カレントフック（リーフフック）の使用推奨

カレントフックは流れのあるポイントでその場にとどまり魚を観察できる非常に便利なアイテムです。また、リーフとの接触も避けることができるのでサンゴやリーフの保護にもつながります。正しいカレントフックの使用方法を知ることによって、快適で環境に優しいダイビングをしましょう。

カレントフック簡単講座！

詳しくはガイドのブリーフィングを聞き、わからないことは質問しよう！

1. ガイドからフッキングしに行くよ！のサインが出たらフックを準備
ガイドと同じコースでリーフへ移動しましょう！
2. ここでフッキング！この指示が出たら、ガイドの位置を基準にグループがあまりばらばらにならないようにフッキング。（広い範囲に散らばってしまうと、他のグループがフッキングできないので注意しよう。）隣のダイバーとぶつからない程度の間隔をあけてリーフ上の岩や、亀裂にフッキング。サンゴや簡単に動いてしまう岩はNG！
フックをかける場所を探すときも、可能な限り優しくサンゴに接してください。
（大抵リーフ上の何かにつかまりますね）
3. BCDに空気を入れて浮いてみよう！
しっかりフックが掛かっていることが確認できたら、BCDに空気を入れ、リーフと体が接触しないように浮いてみよう。これでリーフの保護ができます。空気を入れすぎないこと、入れすぎると何かの拍子にフックが外れた際に危険です。フックのラインに常にテンションをかけておこう、緩んでいると外れやすくなります。フッキング中はフックがしっかり掛かっているかこまめに確認しよう。
4. フックを外して移動するよ！この指示が出たら、まずはBCDの空気を抜こう。空気を抜き忘れたままフックを外すと・・・、急浮上する可能性大！フックを外すときには周りの状況もよく観察、みんな同じタイミングでフックを外して移動することが理想的。
5. 移動開始後、体が安定してからフックをしまおう！
移動開始直後は流れの影響も受けているし、一緒に潜っているダイバーとの距離も近い。ゆっくりフックをしまえる状況になってから行動しよう。フックがぶらぶら、サンゴや岩に引っかからないように注意しよう。

多くのサンゴと魚たちに出会えるパラオ。

このすばらしい環境を守るため、パラオダイビング協議会では独自に環境・自然保護の取り組みを進めています。

人が海に入ることによって少なからずその環境は変化します。

その変化をいかに小さく抑えていくか、これが私達に課せられた大きなテーマ。

私達にできることから始めていますので、大きな影響力は無いかもしれませんが。

私達が何を考え、どのような活動を行っているのか？

パラオを訪れる皆さんに少しでも知っていただくことで、より大きな環境・自然保護の力につながると思います。

ASOBI : Assistance for Saving Our Beautiful Island この活動が広くパラオへ
浸透するよう、私達は今後も努力してゆきます。